

平成 28 年 1 月 11 日

「伊東市公共経営改革大綱」(案)に係るパブリックコメント

伊東市宇佐美 403-2

森 篤

*下線部は修正箇所。

*下線は意見提出者がつけたもの。

頁	(案)	修正等意見	理由等
	(総論)	<p>前回(平成 24 年～平成 27 年)の大綱で、何が改革され、何がまだ課題として残っているかが、今回の大綱を策定するに際して整理されて明らかになっていません。そのところを市民の皆さんに明らかにしなければ新たな改革にはつながらないと思います。</p> <p>従って、前回(平成 24 年～平成 27 年)の大綱の総括(あるいは中間的な整理)を、今回の大綱に記載すべきだと思います。</p> <p>毎年、改革の進捗状況を公開していると言いかもしれませんが、毎年であるが故にそれは細切れであり、大事ではありますが一つのデータに過ぎません。更なる公共経営の改革につなげていくためには、これまでの改革は総括してどうだったかということ論じておく必要があると思います。</p>	
1	策定の趣旨		前回(平成 24 年～平成 27 年)の大綱の「策定の趣旨」

<p>1</p> <p>・・・限られた財源・人材の中で、市民や地域等の様々な主体の参画により、いかに効果的・効率的に行政サービスを提供するかという視点が重要となります。</p>	<p>・・・限られた財源・人材の中で、市民や地域等の様々な主体の参画により、いかに効果的・効率的に行政サービスを提供するかという視点が重要となります。</p> <p><u>さらには、協働による人々との支え合いと活気のある社会づくりを希求し、真に改革された行政と参加意欲を持つ市民・地域等との協働を追求しつつ、公共経営の主体たる市民の皆さんが参画できる環境を整えることが重要となります。</u></p> <p>*太字は、前回（平成 24 年～平成 27 年）の大綱の「策定の趣旨」から整理して引用。</p>	<p>と違っている部分がありますが、特に市民等の位置づけに係る部分が相違していると思われます。</p> <p>即ち、今回の大綱の策定の趣旨では、効果的・効率的に行政サービスを提供するについて、行政職員だけでは、また公金だけでは難しくなっているため、それを補う意味で、市民等の参画が必要になる、という論理になっています。</p> <p>それはそれで大事だと思いますが、効果的、効率的な行政サービスの提供という視点とは別に、根本原則として、公共経営には経営の主体たる市民等の参画が大事であるという視点、哲学も大事だと思います。</p> <p>前回（平成 24 年～平成 27 年）の大綱の「策定の趣旨」には、そこどころが表現されていたと理解できますので、その部分は前回は踏襲すべきだと思います。</p>
<p>2 公共経営改革が目指す姿</p> <p>・・・</p> <p><u>○市民の信頼に応える行政運営</u></p> <p><u>○健全な財政運営</u></p> <p><u>○市民参画によるまちづくり</u></p>	<p>・・・</p> <p><u>○市民参画によるまちづくり</u></p> <p><u>○市民の信頼に応える行政運営</u></p> <p><u>○健全な財政運営</u></p> <p>*序列を第 4 次総合計画に合わせる。</p>	<p>前回（平成 24 年～平成 27 年）の大綱と比べて、表現が違います。第 4 次総合計画の施策の「目標」と「項目」を入れ替えただけで中身が違う訳ではないと思いますが、表現を違えたことが何を意味するのか判然としません。</p> <p>それはともかくとして、第 4 次総合計画では、施策の「項目」に番号をつけて記載に序列を与えている訳ですから、そして、改革大綱は、第 4 次総合計画を実現していくために策定する訳ですから、この際、大綱に記載の施策「項目」の順序も第 4 次総合計画の序列に合わせるべきだと思います。</p>
<p>3 4 施策の推進</p> <p>1 市民の信頼に応える行政運営</p>		

1 ITO システムの更なる進展

指標	現状	目標
・・・	・・・ (平成 27 年度)	・・・ (平成 32 年度)
・・・	・・・ (平成 27 年度)	・・・ (平成 32 年度)

指標	現状 (平成 24 年度 ~平成 27 年度)	目標 (平成 28 年度 ~平成 32 年度)
・・・	・・・	・・・
・・・	・・・	・・・

表中、「指標」に対して「目標」(平成 32 年度)が示されていますが、前回の大綱の平成 24 年度からの累計値なのか、今回の大綱の期間(平成 28 年度~平成 32 年度)の値なのか判然としません。

「現状」(平成 27 年度)の数値から推測すると、それぞれ改革大綱の期間の累計だと思われるので、そこを明確に標記した方が分かり易いと思います。

	実施項目	主な指標
1	・・・ (パブリックコメント)	調査回収率
2	・・・	懇談会実施回数

	実施項目	主な指標
1	・・・ (パブリックコメント)	調査回収率 <u>提出意見数</u>
2	・・・	懇談会実施回数 <u>見直し件数(新規を含む)</u>

パブリックコメントに係る指標がありませんので、「提出意見数」と追加記載すべきです。

会議の開催回数はアウトプットに過ぎません。アウトカム(成果・効果)を図る指標としては不十分です。会議の内容を指標化するのは難しいと思いますが、実施項目が「政策の検討強化」ですから、「見直し件数(新規を含む)」を指標に追加記載してはいかがでしょうか。

4 2 人事管理、給与制度の体系的整理、民間への業務移管の推進及び研修制度の充実

<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>現状</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員定数</td> <td>・・・</td> <td><u>570人</u> *1 (平成32年4月1日)</td> </tr> </tbody> </table>	指標	現状	目標	職員定数	・・・	<u>570人</u> *1 (平成32年4月1日)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>現状</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員定数</td> <td>・・・</td> <td><u>675人</u> *1 (平成32年4月1日)</td> </tr> </tbody> </table>	指標	現状	目標	職員定数	・・・	<u>675人</u> *1 (平成32年4月1日)	<p>消防広域化に伴う派遣職員(105人)は、伊東市職員の身分を失う訳ではありません。予算上の項目はいずれにせよ、派遣職員の実質人件費は伊東市が負担する訳ですから、どうして職員定数から除く必要があるのでしょうか。数字を明記して、職員定数にカウントすべき性格のものです。</p>
指標	現状	目標												
職員定数	・・・	<u>570人</u> *1 (平成32年4月1日)												
指標	現状	目標												
職員定数	・・・	<u>675人</u> *1 (平成32年4月1日)												
<p>*1 平成28年度消防広域化に伴う派遣職員(105人)を除く</p>	<p>*1 平成28年度消防広域化に伴う派遣職員(105人)を含む</p>													
<p>5 2 健全な財政運営</p> <p>目標値 「市の財政の健全な運営(満足度)」・・・</p>	<p>「市の財政の健全な運営(満足度)」・・・ <u>経常収支比率 85.0% (H26年度 86.1%)</u> <u>市民の収納率 86.0% (H26年度 82.7%)</u></p>	<p>財政健全化は、アンケート調査による市民の感想も大事ですが、明確な数値で示されるべきものです。次の「具体的な方策」の項に、指標と目標を示している訳ですから、ここでは、合わせてそのことを記載すべきです。アンケート調査の数値だけを目標値にするとアバウトな財政運営をするようなイメージになります。</p>												
<p>6</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公共施設除却件数</td> <td>5件</td> </tr> </tbody> </table>	指標	目標	公共施設除却件数	5件	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公共施設除却件数</td> <td>5件 *1</td> </tr> </tbody> </table> <p>*「000」「000」「000」「000」「000」を予定する。</p>	指標	目標	公共施設除却件数	5件 *1	<p>この場合、他の目標数値を違って、5件という数字を出す時点で具体的な施設名を予定している訳ですから、注書きで、具体名を列挙しておくべきです。そうした方が市民と行政の情報共有ができると思います。</p>				
指標	目標													
公共施設除却件数	5件													
指標	目標													
公共施設除却件数	5件 *1													
<p>3 市民参画によるまちづくり</p>														

<p>・・・市民野意見や提案をこれまで以上に反映し、事業を展開していくために、多くの市民が活動に加わり、主体的にまちづくりに参画することができる環境づくりが進められます。</p>	<p>・・・市民の意見や提案をこれまで以上に反映し、事業を展開していくために、多くの市民が活動に加わり、主体的にまちづくりに参画することができる環境づくりが進めます。 <u>さらには、公共経営の主体は市民の皆さんであるという視点を一層明確に位置づけます。</u></p>	<p>効果的、効率的な公共経営をするために、主体的な市民の参画が大事であるという視点とは別に、市民こそが公共経営の主体であるという視点が大事だと思います。このことは、伊東市における公共経営改革の核心の一つだと考えますので、文言として明示をすべきだと思います。</p>										
<p>7 2 市民との情報共有化の推進</p> <p>市民の意見や創意をまちづくりにいかすために、市政情報をわかりやすく市民に伝えるとともに、市民からの意見を広く聴くことに努めるなど、広報・公聴の充実を図り、市民との情報共有化を推進します。</p> <table border="1" data-bbox="210 1013 768 1182"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市からの情報提供</td> <td>70.0 %</td> </tr> </tbody> </table>	指標	目標	市からの情報提供	70.0 %	<p>市民の意見や創意をまちづくりにいかすために、市政情報をわかりやすく市民に伝えるとともに、<u>会議記録や統計データなど素情報を可能な限り詳しく提供します。</u> また、市民からの意見を広く聴くことに努めるなど、広報・公聴の充実を図り、市民との情報共有を推進します。</p> <table border="1" data-bbox="792 1013 1337 1267"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市からの情報提供</td> <td>70.0 %</td> </tr> <tr> <td><u>新規の情報提供項目数</u></td> <td><u>*適宜記載する</u></td> </tr> </tbody> </table>	指標	目標	市からの情報提供	70.0 %	<u>新規の情報提供項目数</u>	<u>*適宜記載する</u>	<p>市でわかりやすく情報を加工した上で提供することも大事ですが、インターネットを使えば大量データの提供も物理的に可能ですから、市民の皆さんが公共経営の主体として色々なことを検討できる素情報の提供は、公共経営改革の核心の一つだと思います。</p> <p>*統計データは現在も提供されていますが、既に国からRESASの提供がされていることから、本市固有のより詳しいデータの提供が必要だと思います。(例 大字別人口動態の推移)</p> <p>情報共有化の指標は、満足度だけで満足してはいけません。せっかく市民の皆さんからも色々な事業提案などをしてもらおうと言っているのですから、新規に情報提供する項目の数も指標すべきです。</p>
指標	目標											
市からの情報提供	70.0 %											
指標	目標											
市からの情報提供	70.0 %											
<u>新規の情報提供項目数</u>	<u>*適宜記載する</u>											

	実施項目	主な指標
1	市ホームページ ・・・	・・・
2	・・・	・・・

	実施項目	主な指標
1	市ホームページ ・・・ <u>各種審議会会議記 録の提供</u> <u>詳細統計データの 提供</u>	・・・
2	・・・	・・・ <u>パブリックコメント の件数</u>

*「担当課」はわかりませんので適宜記載してください。

各種審議会会議記録及び詳細統計データの提供は市民の皆さんとの情報共有において極めて大事だと思います。

いずれもホームページ閲覧件数で計測することができます。

パブリックコメントは、公聴事業の重要な柱の一つです。欄は「主な指標」といえ、これを記載しなかったら、情報共有の推進が軽く見えてしまいます。